

平成27年度病害虫発生予報第8号

平成27年11月2日
愛知 県

果樹

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への 影響
ウンシュウミカン	ミカンハダニ	平年並	県全域	10月下旬の発生量は平年並	±

・留意事項

カンキツ黒点病の発生量が多いほ場があります。伝染源を減らすため、枯枝は取り除き、ほ場から持ち出し、適切に処分しましょう。

ナシの黒星病及びうどんこ病、モモせん孔細菌病やカキの落葉病類の発生が多かったほ場では、落葉や剪定枝をほ場外に持ち出し、伝染源を残さないようにしましょう。

ナシ、モモやカキでカイガラムシ類の発生が多いほ場では、粗皮削りを行った後にマシン油乳剤を丁寧に散布して防除しましょう。

野菜

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への 影響
ハクサイ	軟腐病	平年並	県全域	10月下旬の発生量はやや少ない 11月の降水量は多い	－ ＋
	べと病	やや多い	県全域	10月下旬の発生量は平年並 11月の降水量は多い	± ＋
	アブラムシ類	多い	県全域	10月下旬の発生量は多い	＋
	コナガ	やや少ない	県全域	10月下旬の発生量は平年並 フェロモントラップにおける誘殺数はやや少ない	± －

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
キャベツ	黒腐病	多い	県全域	前年の発生量が多い 10月下旬の発生量はやや多い 11月の降水量は多い	＋ ＋ ＋
	菌核病	やや多い	県全域	10月下旬の発生量は平年並 11月の降水量は多い	± ＋
	コナガ	やや多い	県全域	10月下旬の発生量はやや多い フェロモントラップにおける誘殺数はやや多い	＋ ＋
トマト (施設)	葉かび病	やや多い	県全域	10月下旬の発生量は平年並 11月の日照時間は少ない	± ＋
	黄化葉巻病	平年並	県全域	10月下旬の発生量は平年並 10月下旬におけるコナジラミ類の発生量は平年並	± ±
	コナジラミ類	平年並	県全域	10月下旬の発生量は平年並	±
	ハモグリバエ類	平年並	県全域	10月下旬の発生量は平年並	±
ナス (施設)	うどんこ病	やや少ない	県全域	10月下旬の発生量はやや少ない	－
	ミナミキイロアザミウマ	平年並	県全域	10月下旬の発生量は平年並	±
キュウリ (施設)	うどんこ病	少ない	県全域	10月下旬の発生量は少ない	－
	べと病	やや多い	県全域	10月下旬の発生量は平年並 11月の日照時間は少ない	± ＋
	ミナミキイロアザミウマ	平年並	県全域	10月下旬の発生量は平年並	±
イチゴ (施設)	うどんこ病	平年並	県全域	10月下旬の発生量は平年並	±
	ハダニ類	やや多い	県全域	10月下旬の発生量はやや多い	＋

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
野菜共通	ハスモンヨトウ	やや少ない	県全域	10月下旬の発生量はやや少ない フェロモントラップにおける誘殺数はやや少ない	— —
	オオタバコガ	平年並	県全域	10月下旬の発生量はやや少ない フェロモントラップにおける誘殺数は平年並	— ±

・防除対策

〔ハクサイ・べと病〕

収穫前日数に注意して、シグナムWDG、レーバスフロアブルなどで防除しましょう。

〔ハクサイ・アブラムシ類〕

収穫前日数に注意して、アクタラ顆粒水溶剤、コルト顆粒水和剤などで防除しましょう。

〔キャベツ・黒腐病〕

平成27年10月2日発表の「[平成27年度病害虫発生予察注意報第3号](#)」を参照してください。

〔キャベツ・菌核病〕

収穫前日数に注意して、カンタスドライフロアブル、ベンレート水和剤などで防除しましょう。

〔キャベツ・コナガ〕

平成27年9月15日発表の「[平成27年度病害虫発生予察注意報第2号](#)」を参照してください。

〔トマト（施設）・葉かび病〕

換気を十分に行い、余分なかん水を避けるなど湿度を上げないようにするとともに、草勢を落とさないよう管理に努め、トリフミン水和剤、ファンタジスタ顆粒水和剤などで防除しましょう。

〔キュウリ（施設）・べと病〕

換気を十分に行い、余分なかん水を避けるなど湿度を必要以上に上げないようにするとともに、肥料切れを起こさないように努め、ジマンダイセン水和剤などで予防しましょう。また、発生が見られた場合は、ランマンフロアブル、ホライズンドライフロアブルなどで防除しましょう。

〔イチゴ（施設）・ハダニ類〕

平成27年10月2日発表の「[平成27年度病害虫発生予察注意報第4号](#)」を参照してください。

・留意事項

虫媒伝染性ウイルス病のトマト黄化葉巻病（TYLCV）、キュウリ黄化えそ病（MYSV）が発生しているほ場では、発病株を抜き取り適切に処分するとともに、媒介虫（トマト黄化葉巻病はタバココナジラミ、キュウリ黄化えそ病はミナミキイロアザミウマ）の防除を徹底しましょう。

フェロモントラップにおけるオオタバコガの誘殺数は、西三河地域南部や東三河地域で多くなっています。露地野菜ではほ場での発生に注意して、早期発見、早期防除に努めましょう。

参考

東海地方 1か月予報（名古屋地方気象台10月29日発表）

〈特に注意を要する事項〉

期間の前半は気温の変動が大きく、2週目は気温がかなり高くなる見込みです。

〈予想される向こう1か月の天候〉

平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

向こう1か月の平均気温は、高い確率60%です。降水量は、多い確率50%です。日照時間は、少ない確率50%です。

週別の気温は、1週目は、平年並の確率50%です。2週目は、高い確率70%です。3～4週目は、高い確率50%です。

〈向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率〉

〔気温〕 低い：10% 平年並：30% 高い：60%

〔降水量〕 少ない：20% 平年並：30% 多い：50%

〔日照時間〕 少ない：50% 平年並：30% 多い：20%

「農薬使用者のみなさんへ」

- 飛散防止にこれまで以上に留意し、農薬の適正使用に努めましょう。
- 農薬使用前にはラベルの内容を確認しましょう。
- 農薬散布後は、防除器具のタンクやホースも洗いもれがないようにしましょう。
- 農薬は、安全な場所に鍵をかけて保管しましょう。
- 農薬の使用状況を帳簿に記載しましょう。
- 農薬の空容器は、ほ場などに放置せずに適切に処理しましょう。